

Voice - 現地レポート

山王マンションの住居は45室。そのうちのリノベーション物件の数は32だ。現在、住居、あるいはオフィスとして利用されている。リノベ物件の居住性やデザイン、マンションの利便性などについて、実際に暮らしている住人とテナント入居者に話を聞いた。



ぬくもりを感じる自然素材がふんだんに用いられた室内



リノベーション当時の室内。窓の下には「地袋」とよばれる広い収納スペースも設置されている

私は山王マンションを管理・運営するスペースデザイナーで仕事をしており、その縁から2013年からリノベした部屋で暮らしています。住んでいるのは2008年に大学生の女性たちが手がけた部屋をスペースRデザインが、パトンを受け継ぐようにデザインを残しながらさらにリノベーションした「BATON」。大きなイラストやビッドな赤い壁が特徴的な前衛的なデザインなのが面白いんですよ。山王マンションは築55年のペンテージビルですが、耐震工事もされているので安心しています。

一番の特徴は管理人さんが常駐しているところかな。リノベ物件で管理人さんがいるのは珍しいですよ。挨拶はもちろん、ちょっとした困りごとを相談したり、他愛もないことを話したり。隅々まで掃除が行き届いていて、気持ちが良いんですよ。私の仕事は「リノベーションミュージアム冷泉荘」の管理人。見習って毎日2時間くらいかけて清掃するようになりました。

管理人さんの笑顔に
いつも癒されています。

2F「BATON」居住者
杉山 紘一郎さん



モダンで和のテイストの「古梁」という部屋です。和の雰囲気なのですが意外とチェアや家具など洋風のデザインとの相性が良いんですよ。賃貸物件では珍しい全室無垢材を使ったフローリングが特徴です。床以外にも木材をふんだんに使われていて、それらが陽光に照らされた時のあたたかな雰囲気も素敵でしょう。2つの部屋を仕切る壁には明かり窓のように切り取られた空間があり、キャンドルやカレンダーを飾っています。上には古い欄間が飾られていて、空間にアクセントが加わっています。



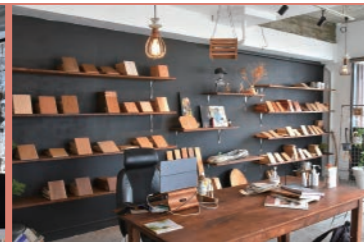
大きな窓の手前にあるシェードを下げるとサンルームのような利用方法ができる。足元にはベンチ兼収納スペースが設置されている

るのもいいですよ。窓の下にはベンチ兼収納もあるので、見た目以上にいろんなものをしまふことができているのは居住者にとってはありがたいポイントです。マンションからは徒歩5分で桜の名所が知られる山王公園があり、JR博多駅まで直行のバスもあるのが利便性が高いです。徒歩でも約20分なので、晴れた日は歩いて駅まで通うこともできます。最近では、七隈線が延伸したので天神エリアへの行き来も便利になりました。さらばーと福岡も生活圏内です。



室内の梁や欄間などには古材が用いられている。灯りを効果的に見せる、壁に開けられた飾り窓や地袋の照明などがユニーク

店舗は山王マンションの顔ともいえる1Fの中央に位置する。富島さんの趣味であるウッドベースも空間にマッチ



山王マンションがあるこのエリアはJR博多駅や空港にも近くてビジネスに適した場所。もともと問屋街で同業者や建材メーカーなども多いので、当社にとっては非常に仕事がしやすいですね。取り扱っている商材が床材なので、ピカピカのビルに出店するよりはこうしたペンテージビルの方が雰囲気が出ると感じています。この1Fスペース「ペンテージなポテンシャル」という名がつけられた空間には以前、期間限定でカフェの出店もされていたのだから、壁の2面がガラス張りなので解放感があり、コンクリートの床が力強さを感じさせますよね。さまざまなテーマでリノベが行われた山王マンションですが、そのいくつかには、当社の床材を使用した部屋もあるんですよ。

デザイン性と居住性のバランスが
絶妙なんですよね

「古梁」入居者



明るさと力強さが同居する建物の
シンボリックなスペースです

1F「無垢フローリング床材専門店 キヤスオンラインショップ」
富島 基宏さん

